

今月の聖句 2008 年 1月

## 『ともに喜び、ともに泣きなさい』

(ローマの信徒への手紙 12章15節)

去年のクリスマス、聖堂で開催された「クリスマス・ハンドベル・ファミリーコンサート」で、日ノ本高音楽科のみなさんが「ドラえもん」を演奏してくれました。その時、冬期実習中だった與賀田神学生が「藤井先生は、どうして、ドラえもんの耳がないのか、ドラえもんは青いのか、知ってます？」と訊ねてきました。「いやー、知らない」と返事をしますと「ドラえもんは、22世紀の未来のデパートで、売れ残っていたネコ型ロボットで、ネズミに耳を囓られたそのせいで、青ざめてしまい、全身が青くなってしまったんですよ」と教えてくれました。

家に帰って、夕食の席でこの話をしていると「ドラえもんは、もともと、ドラミちゃんのような黄色のネコ型ロボットだったんだよ。でも、ネズミに耳をかじられて、ずっと泣き続けていたその涙のせいで、身体の色が青色になってしまい、声はあんなガラガラ声に枯れてしまったんだ。まあ、新しいドラえもんの声は良くなってしまったけど・・・」と3人の子どもたちが「そんなことも知らなかったの」という表情で教えてくれました。職員室でこのことを話すと「いや、いや、ドラえもんの青は、ネズミに青いペンキをひっかけられたからですよ。」と諸説が存在し、いやはや、ドラえもんは、もはや日本の一般教養(笑)です。

御承知のように、ドラえもんには、ガキ大将のジャイアン、お金持ちのスネ夫、優等生の出木杉、といった子どもたちが登場します。どれをとっても、彼らには全然、かなわないのび太ですが「のび太の結婚前夜」という作品で、しずかちゃんのパパが、娘の夫となるのび太についてこんなことを言っている場面があります。

「あの青年は、人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことができる人だ。それが、一番、人間にとって大事なことなんだね。」

(「のび太の結婚前夜」著 藤子・F・不二雄)

新約聖書にこんな言葉が記されています。「喜び人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマの信徒への手紙 12章15節)。新しい年が始まりました。神さまは、子どもたち一人一人に大切な賜物を与えて下さっています。ジャイアンには、ジャイアンの、スネ夫にはスネ夫の、出木杉には出木杉の、のび太にはのび太の・・・。

キリストの平和

(チャプレン 日本聖公会 司祭 藤井尚人)